

長久手市行政評価票

事業番号	117	事業の名称	適応指導教室事務	担当部署	部	課
					教育部	教育総務課

事業の概要	不登校児童生徒を対象に、集団生活への適応を促し、学校への復帰を支援するとともに、相談活動等を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	ほとんどの自治体で実施																			
事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度	_____																		
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市立の学校に通学する小中学生																					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	不登校の児童生徒に学校へ復帰してもらおう。																					
総事業費				総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
				評価の見方																		
				A	現行どおり実施																	
				B	事業の改善																	
				C	他事業と統合																	
D	運営主体の見直し																					
E	事業の廃止の検討																					
うち	一般財源	5,498	5,014	5,332	4,774	5,469																
	国費・県費	0	0	0	0	0																
	地方債	0	0	0	0	0																
	その他	0	0	0	0	0																
	受益者負担額	0	0	0	0	0																

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~										
① 適応指導教室事務	長久手市立の学校に通学する小中学生に	随時				不登校児童生徒の学校への復帰人数	3 1 1	人	不登校児童生徒の学校への復帰が事業の最大の目的であるため。 H25 入級者-12名	5,498 5,332 5,469	5,014 4,774	適応指導教室指導員報酬 4,023 相談報奨金 380 消耗品費 173 通信運搬費 124	A 維持 維持	不登校の児童生徒の指導のために必要であり、現行どおり実施していく	
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要